



中部電力

# 2021年度第2四半期 決算説明資料

2021年10月28日

<b>I</b>	<b>2021年度第2四半期 決算概要</b>	<b>&lt;スライド番号&gt;</b>
	決算概要	..... 1
	セグメント別決算概要	..... 4
	発電電力量	..... 8
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)	..... 9
	配当状況	.....10
	2021年度 業績見通しの概要	.....11
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)	.....13
<b>II</b>	<b>参考データ：決算・財務関連</b>	<b>&lt;スライド番号&gt;</b>
	連結収支比較表	.....14
	連結財政状態の概要	.....15
	連結キャッシュ・フロー	.....16
	2021年度 セグメント別業績見通し	.....17
	財務関連指標等	.....18

# I 2021年度第2四半期 決算概要

---

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。  
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

# 決算概要①

## 〈決算のポイント〉（連結）

- 売上高：1兆1,604億円  
「収益認識に関する会計基準」の適用影響（△3,291億円）などから、前年同期に比べ 2,914億円の減収
- 経常利益：636億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたこと(△1,010億円[560億円→△450億円])や、ミライズにおける競争影響による収支悪化および卸電力取引市場の価格上昇に伴う電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 828億円の減益  
(参考) 期ずれを除いた経常利益：1,090億円程度（前年同期に比べ 190億円程度の増益）

- ・ 売上高は、2020/2Qに続き、2年連続の減収
- ・ 経常利益は、2017/2Q以来、4年ぶりの減益
- ・ 2016/2Q以来、5年ぶりの減収減益

(億円,%)

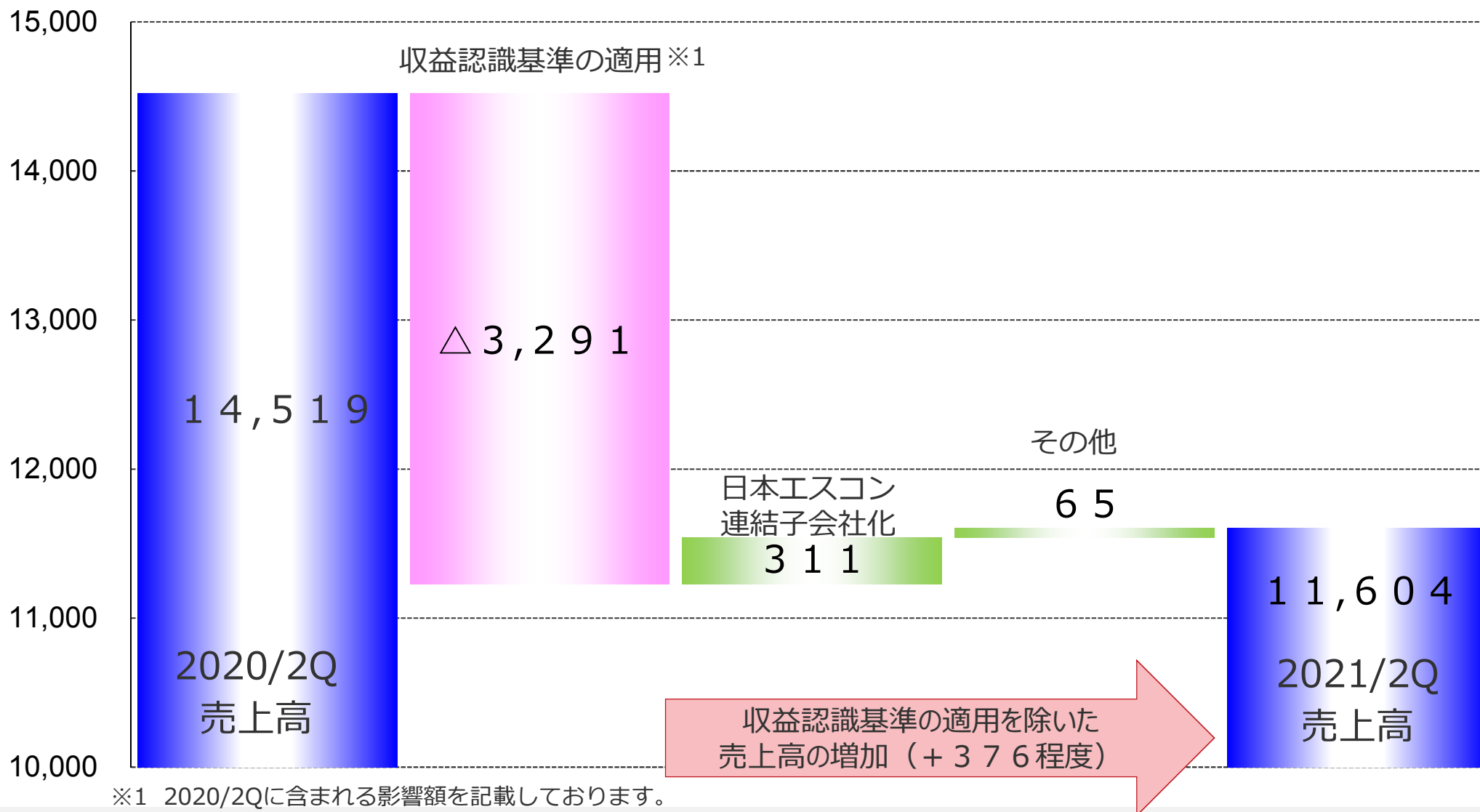
	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	11,604	14,519	△2,914	△20.1
営業利益	540	1,044	△504	△48.3
経常利益	636	1,464	△828	△56.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	1,146	△719	△62.8

(注) 連結対象会社数 2021/2Q 連結子会社 54社(+18社) 持分法適用会社 54社(+6社) [ ( ) 内は前年同期差 ]

# 決算概要②

## 〈連結売上高の変動要因〉 (2,914億円の減収)

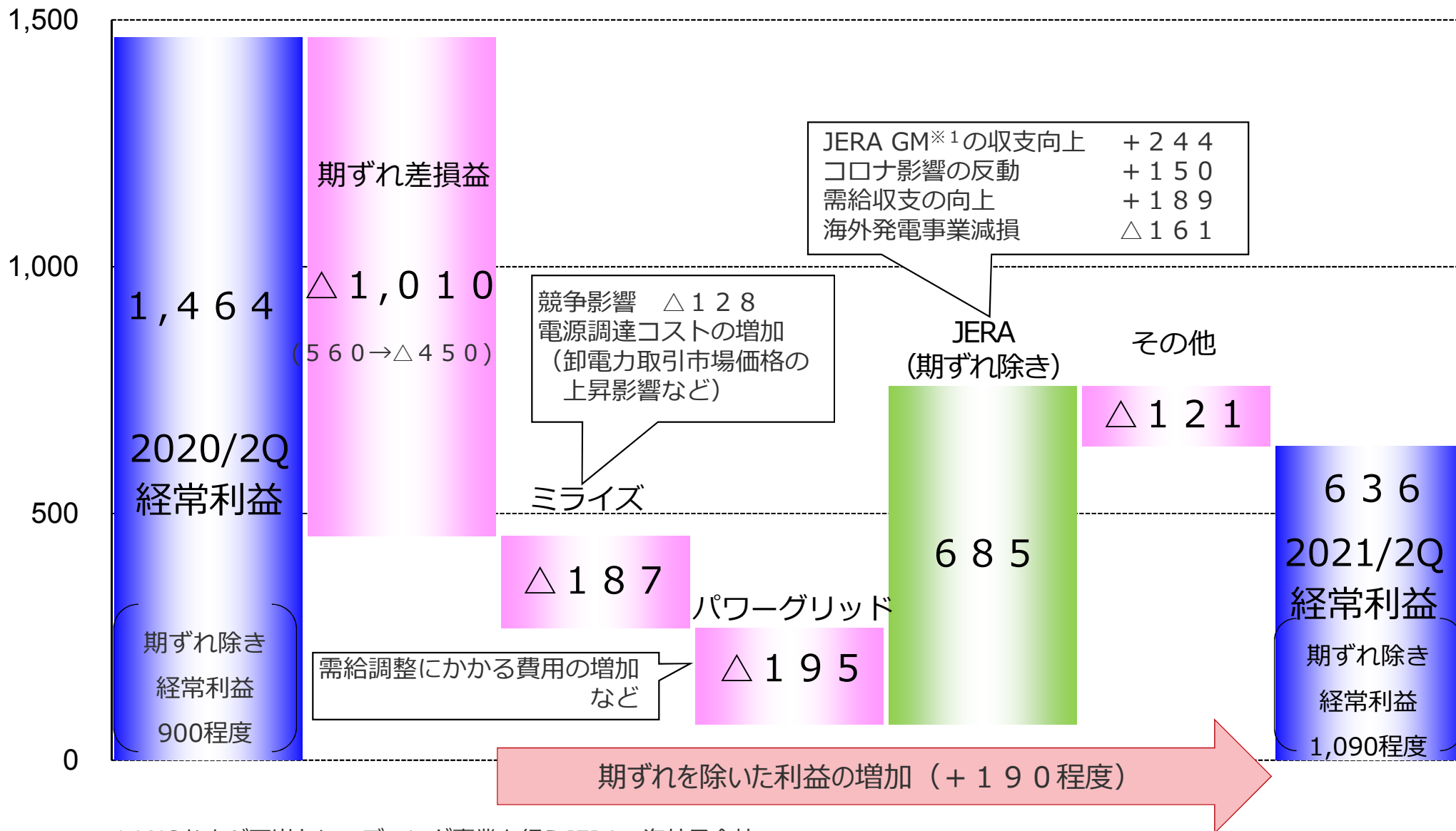
(単位：億円)



# 決算概要③

## 〈連結経常利益の変動要因〉 (828億円の減益)

(単位：億円)



※1 LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERAの海外子会社

# セグメント別決算概要①

## 【売上高】

(億円,%)

	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	8,882	12,291	△3,409	△27.7
パワーグリッド	3,788	3,661	126	3.5
その他 (※1)	3,870	3,502	368	10.5
調整額	△4,936	△4,936	△0	0.0
合計	11,604	14,519	△2,914	△20.1

## 【経常損益】

(億円,%)

	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	230	417	△187	△44.9
パワーグリッド	35	231	△195	△84.6
J E R A (※2)	155	480	△324	△67.6
その他 (※1)	1,007	575	431	75.0
調整額	△792	△240	△552	229.9
合計	636	1,464	△828	△56.5

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R A は、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

# セグメント別決算概要②：ミライズ

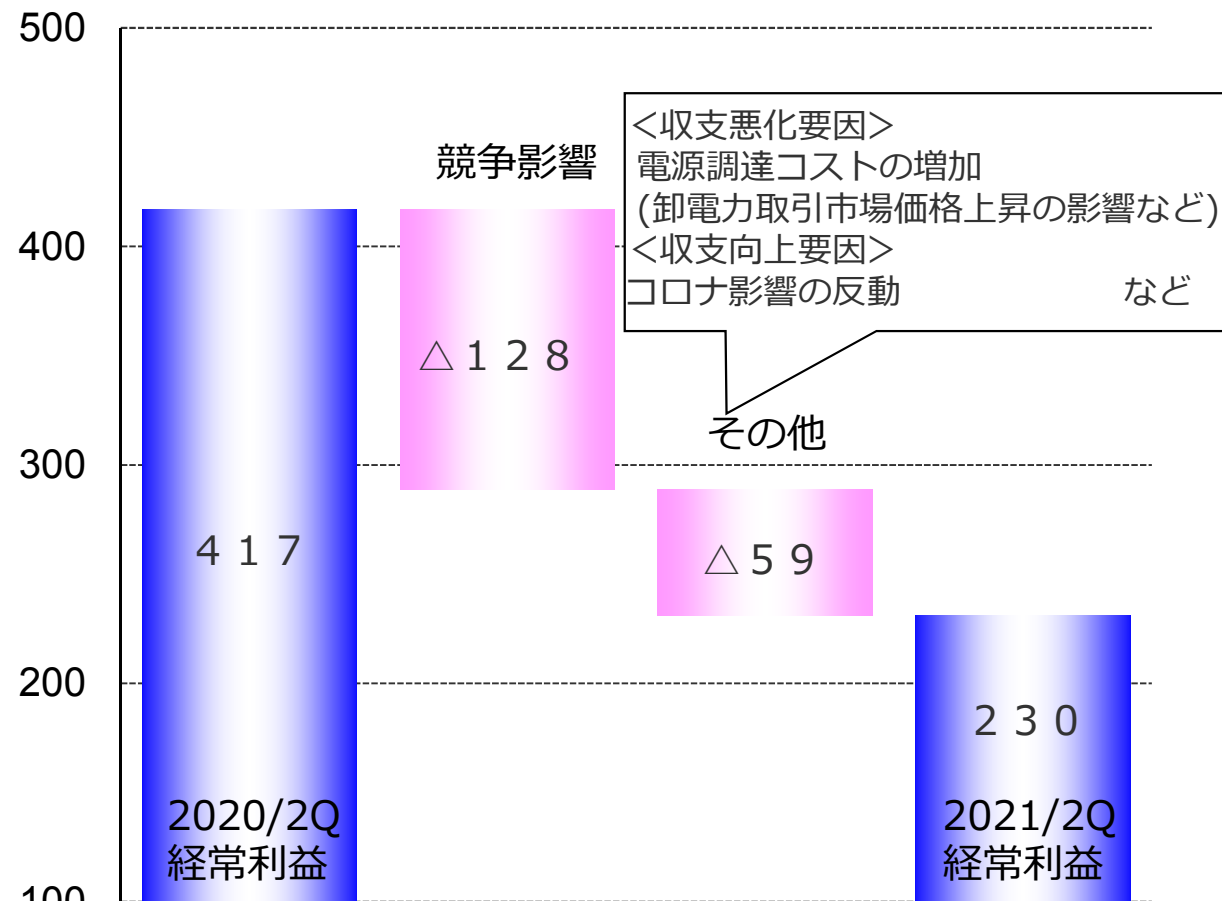
## 〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、競争影響による収支悪化や卸電力取引市場の価格上昇による電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 187億円の減益

(単位：億円)

(販売電力量)

(億kWh,%)



	'21/2Q (A)	'20/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	146	161	△14	△8.8
高圧・特別高圧	389	383	6	1.7
合計	536	544	△8	△1.4

競争影響△27程度、気温・景気等+19程度

## 〔参考〕

グループ合計の 販売電力量	579	572	7	1.2
他社販売電力量	50	34	16	47.3

※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。

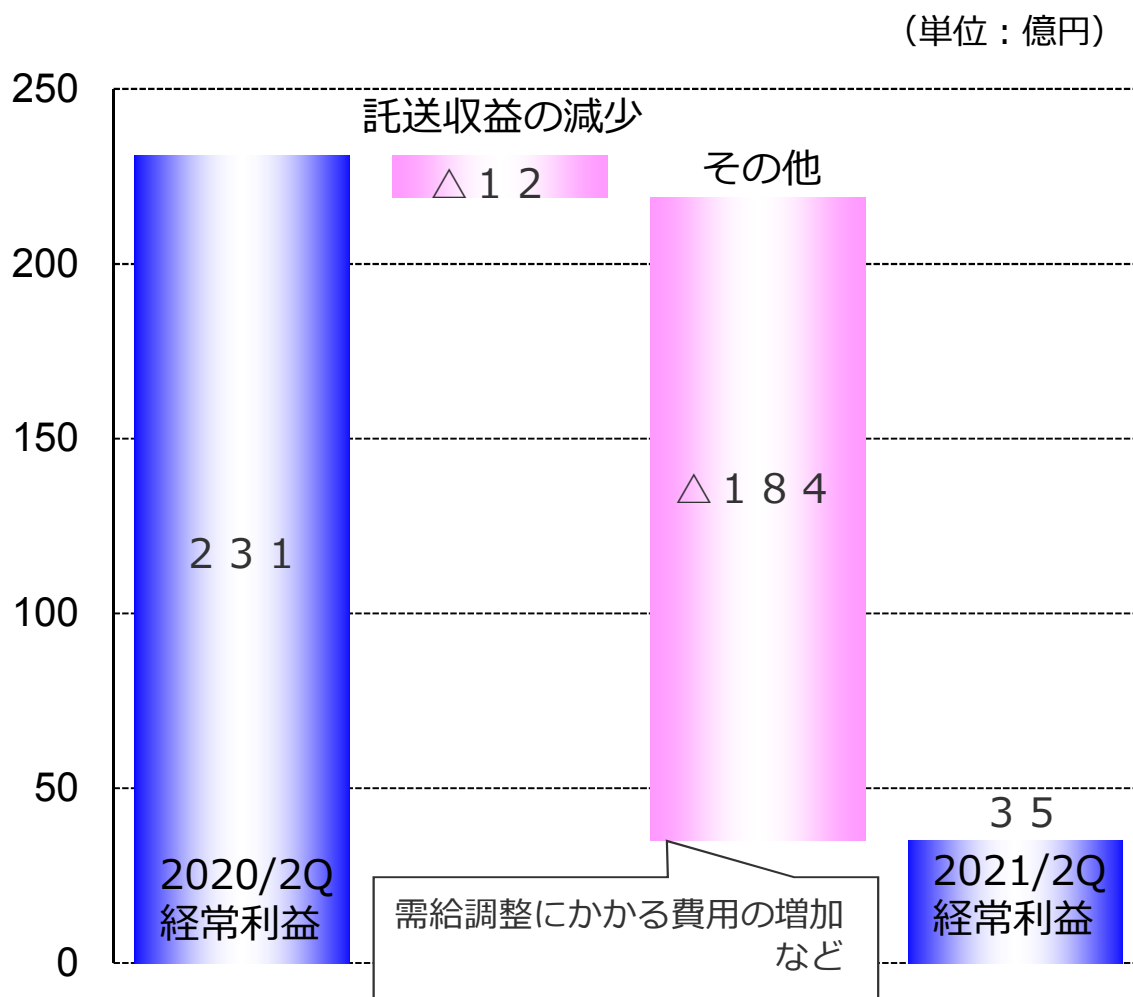
※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。



# セグメント別決算概要③：パワーグリッド

## 〈経常利益の変動要因〉

- 託送収益の減少や需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ 195億円の減益



## (エリア需要)

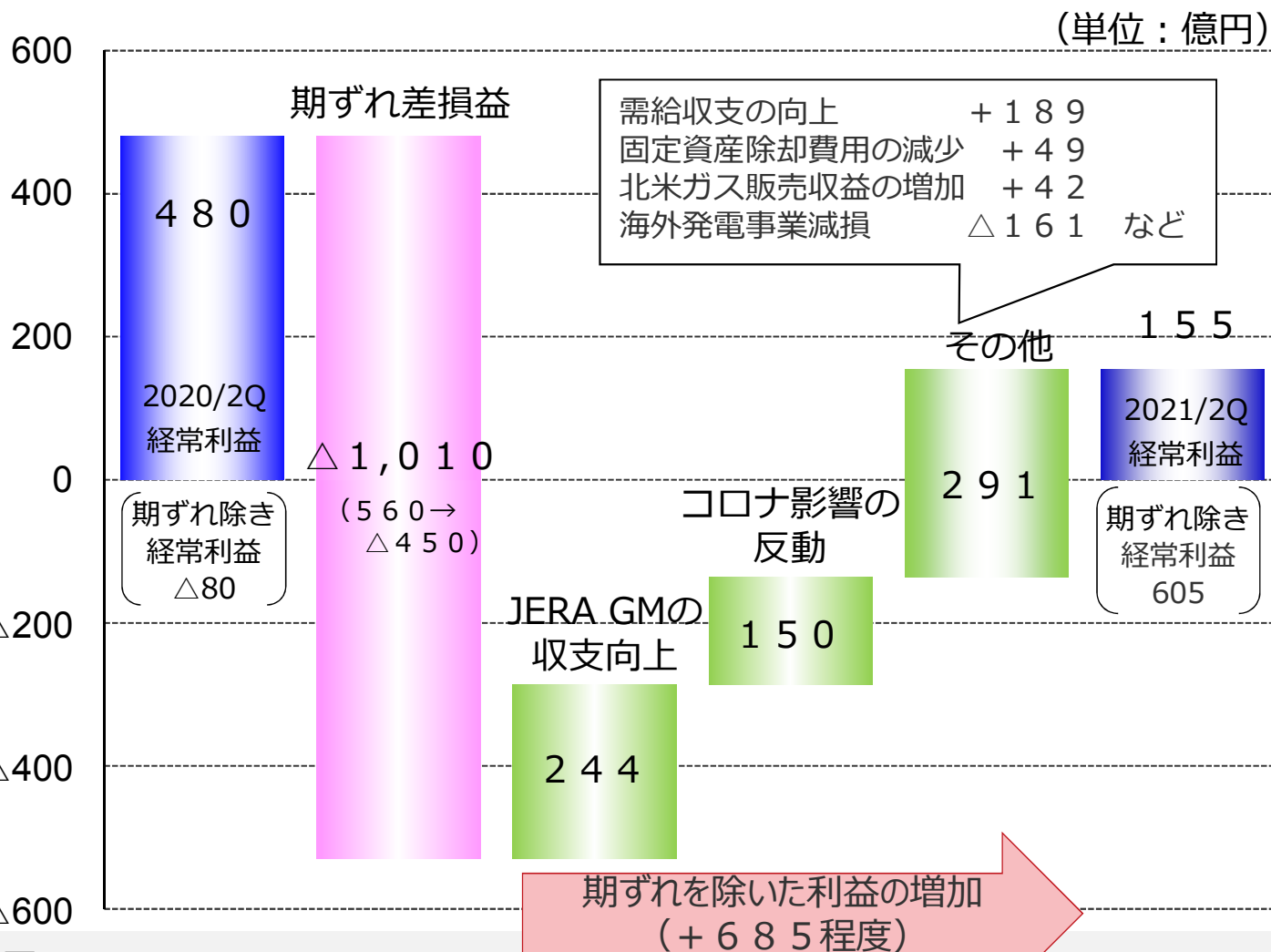
	'21/2Q (A)	'20/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	180	187	△7	△3.8
高圧・特高	442	414	28	6.8
合計	622	601	21	3.5

(億kWh,%)

# セグメント別決算概要④：J E R A

## 〈経常利益の変動要因〉

- LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERA GMの収支向上や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたことによる収支悪化などにより、前年同期に比べ 324億円の減益



(CIF価格・為替レート)

	'21/2Q (A)	'20/2Q (B)	増減 (A-B)
	原油CIF価格(\$/b)	70.3	36.5
為替レート(円/\$)	109.8	106.9	2.9

※2021/2Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'21/2Q (A)	'20/2Q (B)	増減 (A-B)
	連結純利益(億円)	438 (1,348)	1,089 (△38)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

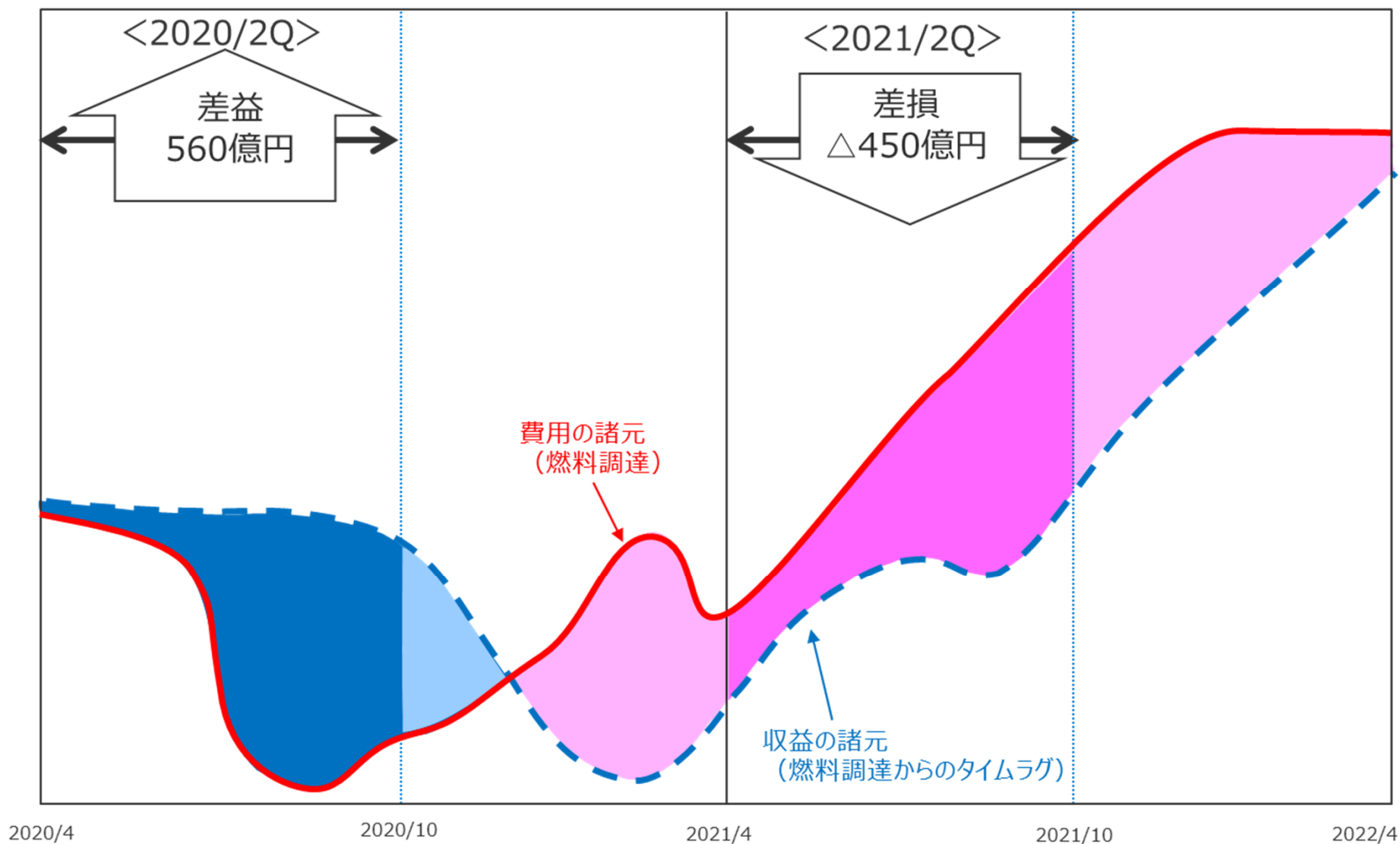
## 〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を上回り、4億kWh増加
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	57 (114.7)	52 (106.2)	4 (8.5)	7.8
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	2	2	△0	△23.0
合計	58	54	4	6.7

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



## 〈株主還元に関する考え方〉

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元を努め、連結配当性向 30%以上を目指してまいります。

## 〈配当状況〉

- 中間配当につきましては、本日開催の取締役会において 1株につき 25円 と決定いたしました。

	2021年度	2020年度
1株当たり 中間配当金	25円	25円
1株当たり 期末配当金	(25円)	25円
合計	(50円)	50円
期ずれ補正後の 連結配当性向	(38%程度)	30.4%

※1 ( ) 内は予想値

# 2021年度 業績見通しの概要①

## 〈業績見通し〉(連結) 2021年7月30日公表の業績予想値を修正

- 売上高：2兆5,000億円  
燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、前回公表から1,000億円の増収
  - 経常利益：450億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加などはあるが、燃料価格の上昇に伴う期ずれ差損の拡大に加え、ミライズにおける卸電力取引市場の価格上昇に伴う電源調達コストの増加などにより、前回公表から650億円の減益  
なお、期ずれを除いた利益は、1,200億円程度となる見込み（前回公表から300億円の減益）
- ・ 売上高は、2020年度に続き、2年連続の減収
  - ・ 2016年度以来、5年ぶりの減収減益
  - ・ 経常利益は、2018年度以来、3年ぶりの減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	7/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	25,000	24,000	1,000程度	4.2
経常利益	450	1,100	△650程度	△59.1
親会社株主に帰属する当期純利益	250	750	△500程度	△66.7

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	25,000	29,354	△4,350程度	△14.8
経常利益	450	1,922	△1,470程度	△76.6
親会社株主に帰属する当期純利益	250	1,472	△1,220程度	△83.0

# 2021年度 業績見通しの概要②

## 【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	7/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,099	1,099	-	-
グループ合計の販売電力量	1,180	1,180	-	-

[参考] 前期比較

競争影響△35程度、気温・景気等+30程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,099	1,107	△8	△0.7
グループ合計の販売電力量	1,180	1,171	9	0.7

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

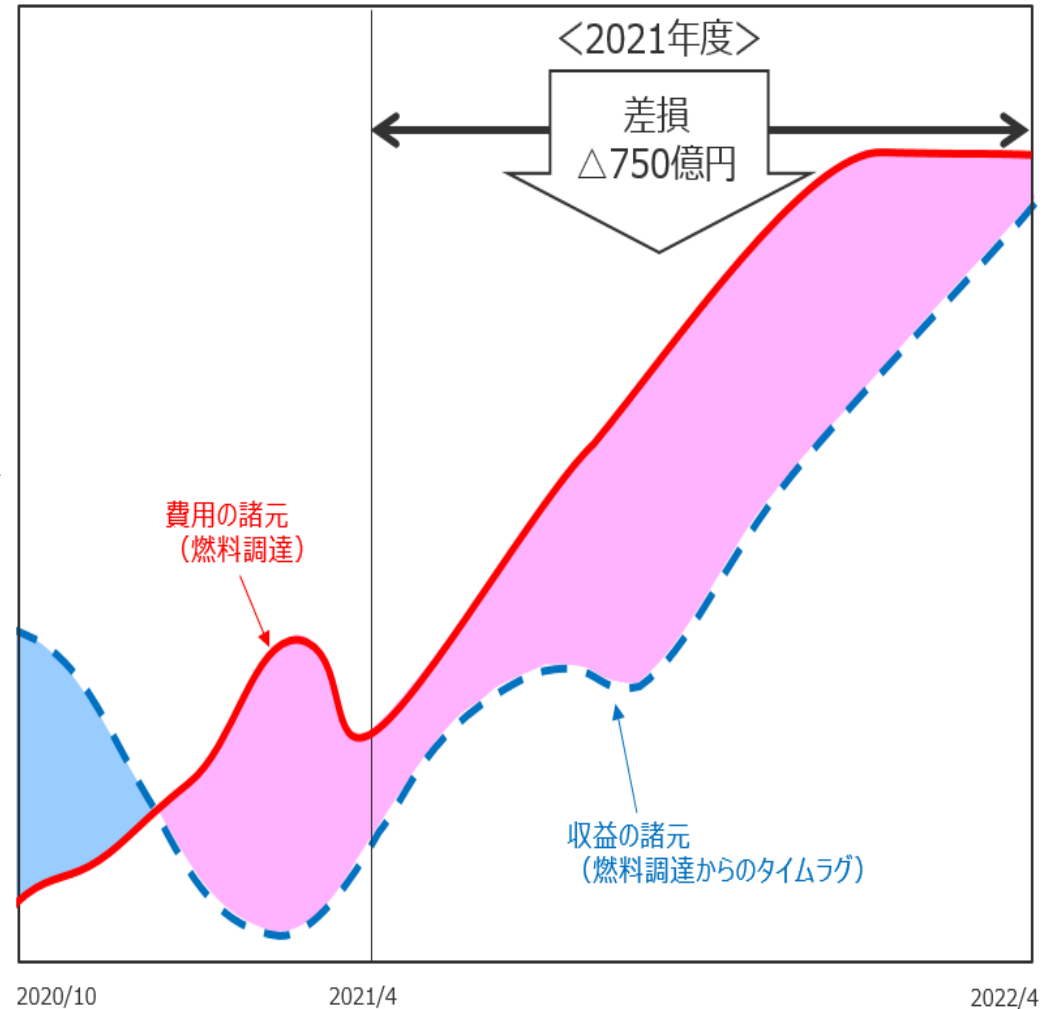
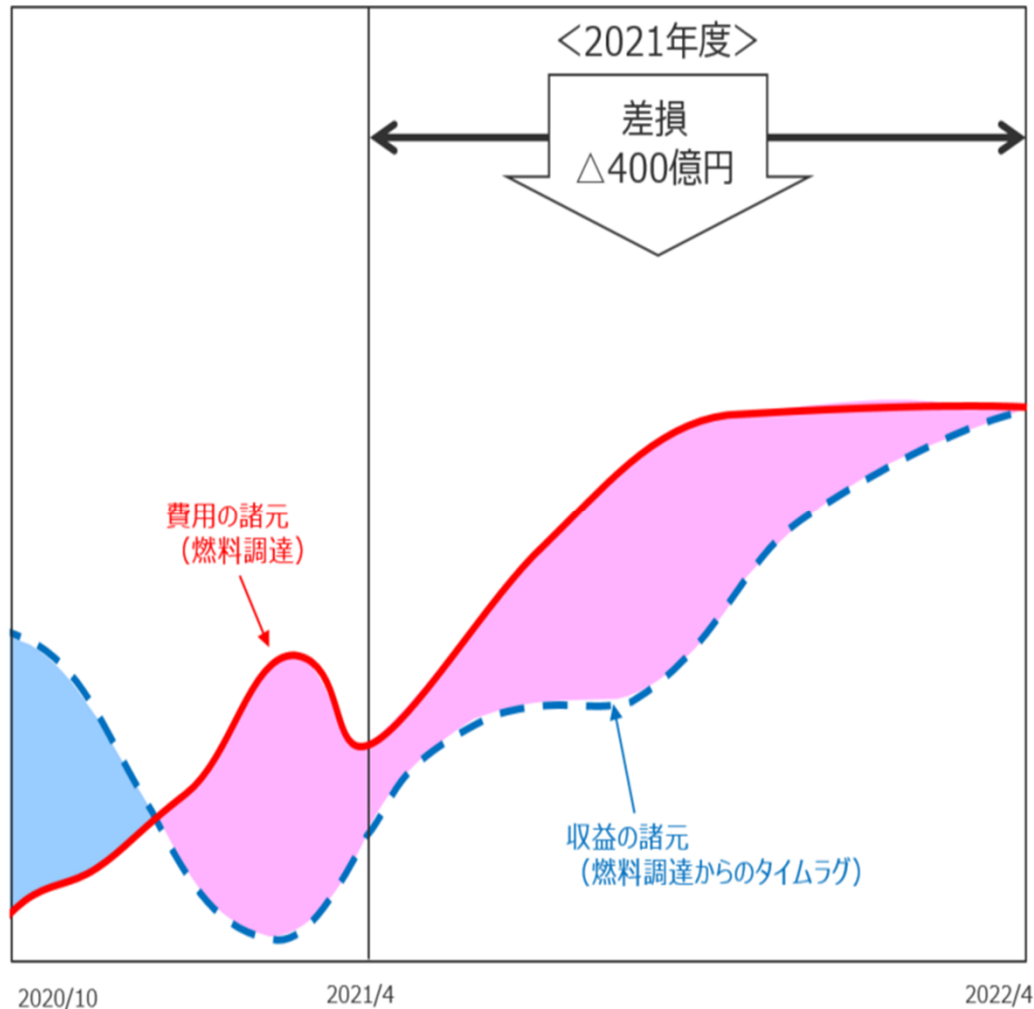
(その他)

	今回公表	7/30公表	<参考> 2020年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	73程度	72程度	43
為替レート (円/\$)	110程度	110程度	106
原子力利用率 (%)	—	—	—

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)

○7月公表 (△400億円)

○今回公表 (△750億円)





# Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

---

# 連結収支比較表

(億円,%)

	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	11,604	14,519	△2,914	△20.1
持分法による投資利益	151	492	△341	△69.3
その他収益	58	37	20	53.7
営業外収益	209	530	△321	△60.6
経常収益	11,813	15,049	△3,235	△21.5
営業費用	11,064	13,474	△2,410	△17.9
営業外費用	113	110	2	2.4
経常費用	11,177	13,585	△2,407	△17.7
(営業利益)	(540)	(1,044)	(△504)	(△48.3)
経常利益	636	1,464	△828	△56.5
法人税等	204	298	△94	△31.6
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	19	△13	△70.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	1,146	△719	△62.8

# 連結財政状態の概要

(億円)

	2021/9末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	59,184	56,863	2,320
負債	37,249	35,826	1,422
純資産	21,934	21,036	897

<主な増減理由>

日本エスコン連結子会社化に伴う増加 など

	2021/9末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)	2021年度 見通し
自己資本比率(%)	35.3	35.7	△0.4	33程度
有利子負債残高	26,214	23,336	2,877	28,000程度
D/Eレシオ (倍)	1.2	1.2	—	1.3程度

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)

	2021/2Q (A)	2020/2Q (B)	増減 (A-B)	<主な増減理由>
営業活動による キャッシュ・フロー ①	△228	1,119	△1,348	経常利益の減少 など
投資活動による キャッシュ・フロー ②	△1,092	△921	△170	
財務活動による キャッシュ・フロー ③	1,503	△447	1,950	資金調達の増加 など
現金および現金同等物の 増減額(※) ①+②+③	184	△248	432	

※連結範囲の変更に伴う現預金等の増減額を含む

フリー・キャッシュ・フロー ①+②	△1,320	198	△1,518	
----------------------	--------	-----	--------	--

# 2021年度 セグメント別業績見通し

## 【経常損益】

(億円,%)

	今回公表 (A)	7/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	150	480	△330程度	△68.8
パワーグリッド	100	400	△300程度	△75.0
J E R A	△130 (620)	20 (420)	△150程度 (200程度)	— (47.6)
その他・調整額	330	200	130程度	65.0
合計	450 (1,200程度)	1,100 (1,500程度)	△650程度 (△300程度)	△59.1 (△20.0)

( ) 内は期ずれ除き経常利益

## (参考) JERA連結業績見通し

	今回公表 (A)	7/30公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
J E R A 連結純利益	0 (1,500)	400 (1,200)	△400程度 (300程度)	— (25.0)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

(%)

	2021年度 見通し	【参考】 2020年度
ROA	1.0程度 (2.5程度)	3.8 (3.4)
ROE	1.0程度 (5.0程度)	7.5 (6.3)

( ) 内は期ずれ除きの数値

(億円)

	2021年度 見通し	2021/2Q	【参考】 2020年度
戦略的投資	1,800程度 (3,300程度)	400程度 (1,900程度)	400程度 (1,500程度)

( )内は2019年度からの累計額。当社は2019年度から2023年度までの5年間累計4,000億円以上の戦略的投資を目指しております。

## 本資料取扱上のご注意

本資料の業績見通しは、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。